

植物多様性センターの「孤独のツノハシバミ」

学習園の初夏の楽しみのひとつに、ツノハシバミがあります。「今年はどのくらい実がついてるかな？」と数えるのが日課です。ツノハシバミは、雄花と雌花が同じ株につく雌雄異花・雌雄同株の植物ですが、学習園では武蔵野の雑木林に1株しかなく、実つきが極端に悪いのです。登山道で遭遇する山地のツノハシバミは、まるで別種ではないかと思うほどたわわに実をつけます。



3月

雌花序：赤い柱頭の束が数個集まっている 雄花序(円内)



5月

若い果実：受粉し黒く枯れた柱頭と肥大伸長し始めた果苞



7月

学習園の結実状況：1か所に2個つくのは非常にまれ



山地における結実状況：1か所に複数個の果実を实らせる